

1 乗艇中の艇の管理

●足を置いてよいところ： 艇の上で、足を載せ体重をかけられるのは、レールや「ステッププレート」など、特定のところだけです。シートは座るところですが、滑って危険なので、踏んではいけません。レールも、突き出した先端部は踏まないようにします。艇によって異なるので、乗る艇によって大丈夫なところを確認し、確実に守りましょう。

●ボートの中に泥や砂を持ち込まない： ボートの中に泥や砂を持ち込まないように注意しましょう。

●ストレッチャー、オールロックの点検： ストレッチャーやリガー各部の固定状態、オールロックのゲートの締め付け、オールのカラーの固定などを、乗艇中も頻繁に、点検する習慣をつけましょう。

●舵手は立たない： 舵手は舵手席に正しく座りましょう。シートの上に立つべきではありません。ラダーロープで体重を支えるのは、ラダーの軸と軸受けに過度の負担をかけます。ナックルフォアでも同様です。

2 乗艇後

●着岸： 着岸したら、気をつけてコックスの指示にしたがってボートから降ります。滑らないように慎重に降りましょう。オールを抜き、オールロックを元通り締めて内側に向け、シートは落ちないように固定します。コックスは、ラダーロープを縛りません。

●艇を洗う： 乗艇後、艇とオールをよく洗いましょう。特に海水域では重要です。十分にきれいな淡水域であれば、洗う作業は最小限で済むかもしれません。各部をよく洗い、そして点検をしながら、きれいなウェスで拭き拭きます。

●保管： 艇やオールの点検をすませたら、艇庫に納めます。オールロックを確実に内側に向けておきましょう。オールロックにカバーを被せるのは良い習慣です。もしボートの傷みや気になるところがあれば、かならず整備責任者に知らせましょう。